

塗 装 略 号 : —

塗 装 仕 様 : 水性シリコン仕上 (塗り替え) 鉛・クロムフリー仕様

上塗塗料名 : 070ライン シリコマックス屋根・瓦用 1000番級

規 格 : —

素 材 : セメント瓦スレート瓦など

部 位 : 屋根

工 程	塗 料 と 施 工 内 容	シンナー名 希釈率%	標準塗付量 kg/m ² ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね 可能時間 h (20°C)	
1	素地調整	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。 またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧水洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。				
2	下地調整材 (軽度)	ロック屋根・瓦用サーフェサー 032-2111 塗装方法 ハケ、ローラー、エアレス 塗装回数 1回 塗布面積 18~30m ² /15kg・回	水 ハケ、ローラー 5~10 エアレス 10~15	0.5~0.8	—	16以上
3	上 塗	シリコマックス屋根・瓦用 070-1000級 常備色 塗装方法 ハケ、ローラー、エアレス 塗装回数 2回 塗布面積 80~100m ² /15kg・回	水 ハケ、ローラー 0~5 エアレス 0~10	0.15~0.18	—	2以上

※塗付量は被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

特長

- ・水性で臭気が少なく、火災の心配がありません。
- ・光沢感、肉もち感が良く耐候性がすぐれています。
- ・強力な防霉、防カビ性により外観を損ないません。

施工上の要点および注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
塗装作業中及び乾燥する際は十分に換気を行ってください。
- ・気温が低い時、湿度が高い場合には完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、気温5°C以下、湿度85%以上での塗装はさけてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、また、天候不良の恐れがあるときの塗装はさけてください。
- ・乾燥過程で、霜、夜露等の影響を受ける恐れがある時間帯の塗装は避けてください。
- ・ハケ、ローラーなどの塗装用具は、水性用を使用し、用具や手に付いた塗料は使用後できるだけ早く水で洗い落としてください。
- ・必ず高圧水洗浄、ブラシ等により水洗浄を行い、塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、砂、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜を確実に取り除いてください。
- ・先に塗りにくいところを塗ってから、また高い所から下の方に塗り場を確保しながら塗ってください。作業時の安全には十分注意し、高所で作業される場合は、安全ロープをかけてください。
- ・素穴や段差、ヒビ割れがある場合には、セメントフィラーで不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗をしておいてください。エマルジョンパテの外部での使用はさけてください。
- ・素地が直射日光などで極端に熱くなっているときは塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- ・露出している瓦の素地が脆弱な場合は、剥離の原因となりますので塗装を避けてください。(瓦を張り替える方が望ましい。)
- ・改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りを行った後仕様を決めてください。
- ・各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ・塗装後水切り部で瓦の重なり合った部分に塗料が付着していると漏れの原因となります。必ず皮スキなどを使って塗料の除去と縁切りを行ってください。
- ・070ライン シリコマックス屋根・瓦用 1000番級の常備色は、18色あります。
- ・掲載されている塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカatalogをご参照ください。

○労働災害事故防止のため製品安全データシート (MSDS) をご参照ください。